

2024年11月実施
第22回
農業簿記検定[®]
2級問題

注意事項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**2時間（120分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しています。
試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 以下の文章の空欄（ ① ）～（ ③ ）に入る語句の正しい組合せを示す選択肢を一つ選びなさい。

農企業は、農産物の原価計算を実施することによって様々な情報を得ることができる。農産物原価計算を実施することによって、財務諸表を作成するために必要な情報を入手できることになる。これを（ ① ）目的と称する。

また、農産物原価計算の実施によって精緻な農産物原価情報を入手できることで、農産物をより安く効率的に製造するために必要な資料を提供することが可能となる。これを（ ② ）目的と称する。

さらに、農産物原価計算を実施することによって、企業の利益計画に必要な資料を提供することができる。これを（ ③ ）目的と称する。

【選択肢】

	①	②	③
1	公開財務諸表作成	利益計画	原価管理
2	公開財務諸表作成	原価管理	利益計画
3	利益計画	原価管理	公開財務諸表作成
4	原価管理	公開財務諸表作成	利益計画
5	利益計画	公開財務諸表作成	原価管理

問題 2

以下の〔資料〕に基づいて、5月15日の種苗消費に関する仕訳として正しい選択肢を一つ選びなさい。
なお、種苗は実際消費量を継続記録法によって計算し、実際消費価格の計算は先入先出法を用いている。

〔資料〕

種苗（材料）の取引に関する資料

5月1日	種苗の前月繰越は、100 kg（50 円/kg）であった。
5月10日	400 kg（52 円/kg）の種苗を掛けて仕入れた。
5月15日	450 kgの種苗を生産指示書 No. 1 に対して出庫した。

【選択肢】

	借方科目	金額（円）	貸方科目	金額（円）
1	仕掛品	22,500	材料	22,500
2	製造間接費	22,500	材料	22,500
3	仕掛品	23,200	材料	23,200
4	製造間接費	23,200	材料	23,200
5	仕掛品	23,400	材料	23,400

問題 3 以下の〔資料〕に基づき、経費の当月合計消費額を示す正しい選択肢を一つ選びなさい。

〔資料〕

1. 作業委託費 前月末払額 5,000 円 当月支払額 48,500 円 当月未払額 4,800 円
2. 減価償却費 年間見積額 150,000 円
3. 動力光熱費 当月支払額 89,500 円 当月測定額 89,200 円

【選択肢】

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 150,000 円 | 2. 150,300 円 | 3. 150,400 円 |
| 4. 287,500 円 | 5. 287,900 円 | |

問題 4 以下の〔資料〕に基づいて、実際部門費集計表を完成させた場合の空欄（①）（②）に入る金額の正しい組合せを示す選択肢を一つ選びなさい。

〔資料〕 部門共通費に関する資料

1. 部門共通費の各金額

減価償却費：60,000円 動力光熱費：31,200円

2. 部門共通費の配賦基準

費目	配賦基準	水稻部門	麦部門	大豆部門
減価償却費	耕作面積	180㎡	200㎡	120㎡
動力光熱費	消費電力量	400kwh	200kwh	180kwh

3. 実際部門費集計表（単位：円）

費目	水稻部門	麦部門	大豆部門
部門個別費			
肥料費	40,000	25,000	38,000
農薬費	12,000	18,000	22,000
部門共通費			
減価償却費	(①)	(?)	(?)
動力光熱費	(?)	(?)	(?)
部門費合計	(?)	(②)	(?)

【選択肢】

	①	②
1	14,400	75,000
2	21,600	75,000
3	21,600	81,600
4	21,600	89,600
5	24,000	75,000

問題 5 以下の〔資料〕に基づいて仕掛品勘定を完成させた場合の（ A ）に入る金額の正しい選択肢を一つ選びなさい。なお、製造間接費のみ原価差異が発生している。

〔資料〕

1. 製造原価報告書（単位：円）

I 直接材料費		1,200,000
II 直接労務費		850,000
III 製造間接費		
実際発生額	780,000	
製造間接費差異	28,000	752,000
当期総製造費用		2,802,000
期首仕掛品棚卸高		820,000
合 計		3,622,000
期末仕掛品棚卸高		750,000
当期製品製造原価		2,872,000

2. 仕掛品勘定（単位：円）

		仕掛品	
前 期 繰 越	(?)	製 品	(A)
材 料	(?)	次 期 繰 越	(?)
賃 金 手 当	(?)		
製 造 間 接 費	(?)		
	(?)		(?)

【選択肢】

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 2,802,000 | 2. 2,830,000 | 3. 2,872,000 |
| 4. 2,900,000 | 5. 3,622,000 | |

問題 6**問題 5**

の資料に基づいて、さらに損益計算書を示すと以下の〔資料〕のようになる。損益計算書の空欄（ B ）に入る金額として正しい選択肢を一つ選びなさい。

〔資料〕 損益計算書（単位：円）

I 売上高		3,600,000
II 売上原価		
1. 期首製品棚卸高	0	
2. 当期製品製造原価	(?)	
合計	(?)	
3. 期末製品棚卸高	0	
差引	(?)	
4. 原価差異	(?)	(?)
売上総利益		(?)
III 販売費及び一般管理費		210,000
営業利益		(B)

【選択肢】

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 490,000 | 2. 518,000 | 3. 546,000 |
| 4. 700,000 | 5. 728,000 | |

問題 7 当社は畜産農業を営んでおり、畜産物の原価計算方法として総合原価計算を採用している。以下の〔資料〕に基づいて、期末仕掛品原価として正しい金額を示す選択肢を一つ選びなさい。なお、期末仕掛品原価の計算方法は先入先出法によっている。

〔資料〕

1. 生産データ

期首仕掛品	50 頭
当期投入	850 頭
合計	900 頭
期末仕掛品	40 頭
完成品	860 頭

2. 原価データ

期首仕掛品原価		当期製造費用	
素畜費	90,000 円	素畜費	1,700,000 円
加工費	70,000 円	加工費	6,240,000 円

3. その他の資料

完成品の家畜の飼育日数は1頭当たり90日である。期首仕掛品は前期において20日の飼育が終了していた。期末仕掛品となった家畜は、40日の飼育が終了していた。期末仕掛品となった家畜の素畜費は80,000円であった。

【選択肢】

1. 80,000 円 2. 128,000 円 3. 208,000 円
4. 293,647 円 5. 373,647 円

問題 8 **問題 7**の〔資料〕に基づいた場合、完成品総合原価を示す正しい選択肢を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,710,000 円 2. 6,182,000 円 3. 6,192,000 円
4. 7,892,000 円 5. 7,912,000 円

問題 9 以下の文章の空欄（ ① ）～（ ③ ）に入る語句の正しい組合せを示す選択肢を一つ選びなさい。

短期利益計画に役立つ情報を得るためには、総原価を（ ① ）と（ ② ）に分け、売上高からまず（ ① ）を控除して（ ③ ）を算定する。さらに（ ③ ）から（ ② ）を控除して営業利益を計算する。（ ② ）と（ ③ ）が一致し、営業利益がゼロとなるところを（ ④ ）と称する。

【選択肢】

	①	②	③	④
1	変動費	固定費	貢献利益	安全余裕率
2	変動費	間接費	貢献利益	損益分岐点
3	変動費	固定費	売上総利益	損益分岐点
4	変動費	固定費	貢献利益	損益分岐点
5	直接費	固定費	貢献利益	損益分岐点

問題 10 帳簿組織に関する次のA～Eの記述の中に、正しい内容のものが三つある。その正しい記述の記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

- A. 詳細な記録を必要とするものは、主要簿のほかに補助簿である補助記入帳や補助元帳にも記入する。
- B. 補助記入帳とは、特定の取引について、取引の発生順に詳細な記入を行う補助簿である。つまり補助記入帳は、仕訳帳における特定の取引の詳細を記録する帳簿である。
- C. 補助記入帳の具体例としては、現金出納帳や当座預金出納帳、小口現金出納帳、売上帳、仕入帳、商品有高帳などがあげられる。
- D. 補助元帳とは、特定の勘定または事柄について、内容を項目別に分けて記入を行う補助簿である。つまり補助元帳は、総勘定元帳における特定の勘定の詳細を記録する帳簿である。
- E. 補助元帳の具体例としては、得意先元帳（売掛金元帳）や仕入先元帳（買掛金元帳）、受取手形記入帳、支払手形記入帳などがあげられる。

【選択肢】

1. A, B, C 2. A, B, D 3. A, C, E 4. B, C, D 5. C, D, E

問題 11

にちび牧場は、年1回3月末決算の法人である。にちび牧場の搾乳牛の育成に関する次の資料をもとに計算した ①育成費振替高と、②育成仮勘定のそれぞれの当期末残高として、正しい金額の組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

にちび牧場 育成牛一覧表

(金額単位：円)

No.	取得日	前期繰越額	当期中の育成費用	当期中に成熟したものの取得価額	次期繰越
351	X1年4月18日	731,654			
352	X2年7月25日	235,860			
353	X3年5月19日	—			
合計		967,514	①		②

X3年4月18日 育成牛No.351が成熟したので生物に振り替えた。なお、当期首から本日までにNo.351の育成に要した飼料等の額の合計額は22,850円であった。

X3年5月19日 出生した牛No.353を搾乳牛として育成することとした。

X4年3月31日 決算につき、当期中に育成牛の育成に要した飼料等の額を集計したところ、No.352に350,625円、No.353に318,875円であった。

【選択肢】

- | | | | | |
|----|---|---------|---|-----------|
| 1. | ① | 669,500 | ② | 905,360 |
| 2. | ① | 669,500 | ② | 1,659,864 |
| 3. | ① | 692,350 | ② | 754,504 |
| 4. | ① | 692,350 | ② | 905,360 |
| 5. | ① | 692,350 | ② | 1,659,864 |

問題 12

次の繁殖牛の育成に関する一連の取引の仕訳について、空欄①、②に入れるべき最も適切な勘定科目として、その正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい（仕訳の金額単位：円）。

- (1) X1 期より繁殖牛の育成を開始した。X1 期の繁殖牛育成に要した飼料費は 297,000 円であり、普通預金からの振り込みにより支払った。

(借) 飼料費 297,000 (貸) 普通預金 297,000

- (2) X1 期の決算につき、繁殖牛の育成費用について計算したところ、総額 705,672 円であった。

(借) (①) 705,672 (貸) 育成費振替高 705,672

- (3) X2 期に入り、従来から育成を行っていた繁殖牛が成熟期を迎え、繁殖活動を開始した。なお、当該繁殖牛の X2 期における育成費用は 577,368 円であった。

(借) (②) 1,283,040 (貸) (①) 705,672
(貸) 育成費振替高 577,368

【選択肢】

- | | | |
|----|---------|---------|
| 1. | ① 飼料費 | ② 生物 |
| 2. | ① 育成仮勘定 | ② 飼料費 |
| 3. | ① 育成仮勘定 | ② 生物 |
| 4. | ① 生物 | ② 育成仮勘定 |
| 5. | ① 生物 | ② 飼料費 |

問題 13

次の仕訳のうち、正しいものが二つある。その正しい仕訳の記号の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい（仕訳の金額単位：円）。

- ア. 散布機械（スピードスプレーヤー）を、所有権移転ファイナンス・リースにより導入し、使用を開始した。貸手の現金購入価額（当社にとって明らか）は7,056,720円である。

(借) リース投資資産 7,056,720 (貸) リース債務 7,056,720

- イ. 上記ア. に関する第1回リース料（年額）を普通預金から口座振替により支払った。なお、支払ったリース料1,390,297円のうち利息相当額は352,836円である。

(借) リース債務 1,037,461 (貸) 普通預金 1,390,297
(借) 支払利息 352,836

- ウ. 収穫機を、所有権移転外ファイナンス・リースにより導入し、使用を開始した。リース料の総額は1,760,000円である。なお、リース資産総額に重要性が乏しいと認められるため、リース料総額から利息相当額の合理的な見積額を控除しない方法により会計処理を行う。

(借) リース資産 1,760,000 (貸) リース債権 1,760,000

- エ. 決算にあたり、上記ウ. のリース資産の減価償却を行う。

（償却方法：間接法、総リース期間48ヶ月、当期におけるリース期間は3ヶ月である）

(借) 減価償却費 110,000 (貸) 減価償却累計額 110,000

- オ. 草刈機をリース（オペレーティング・リース）し、当期分のリース料220,000円を普通預金口座から口座振替により支払った。

(借) リース債務 220,000 (貸) 普通預金 220,000

【選択肢】

1. ア、ウ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. イ、エ 5. エ、オ

問題 14

次の取引に関する仕訳をした場合における下記の記述のうち、正しいものが二つある。その正しい記述の組み合わせを示す番号を一つ選びなさい。

当期 6 月 30 日に搾乳牛を 362,340 円で売却し、代金のうち 100,000 円は現金で受け取り、残額は翌月末に受け取ることとした。当該搾乳牛の取得価額は 475,200 円、当期首時点における減価償却累計額は 118,800 円であった。なお、当該搾乳牛の減価償却費の計算は、耐用年数 4 年の定額法（償却率：0.250）によっており、記帳方法は直接法である。

（決算年 1 回：12 月 31 日）

- ア. 貸方側に仕訳される生物売却収入の金額は 100,000 円となる。
- イ. 借方側に仕訳される現金の金額は 362,340 円となる。
- ウ. 貸方側に仕訳される生物の金額は 475,200 円となる。
- エ. 借方側に仕訳される減価償却費の金額は 59,400 円となる。
- オ. 借方側に仕訳される生物売却原価の金額は 297,000 円となる。

【選択肢】

1. ア、ウ 2. ア、オ 3. イ、ウ 4. イ、エ 5. エ、オ

問題 15

日本ビジネス農業株式会社（以下、当社）は、新品目の農作物の導入決定を機に、収入保険に加入することとした。次の一連の取引の仕訳のうち、①～③にあてはまる勘定科目または金額（仕訳の金額単位：円）の組み合わせとして最も適切なものの番号を一つ選びなさい。

1. 当社の第 25 期中に、保険料 48,750 円、積立金 140,625 円、付加保険料 13,750 円、合計 203,125 円について、小切手を振り出して支払った。なお、支払い時には、保険料及び付加保険料につき共済掛金勘定を用いて処理する。

(借) 共 済 掛 金 (①) (貸) 当 座 預 金 203,125
(②) ()

2. 第 25 期の決算日において、上記 1. で計上した共済掛金につき、前払費用勘定に振り替えた。

(借) 前 払 費 用 (①) (貸) 共 済 掛 金 (①)

3. 第 26 期の期首において、上記 2. に関する再振替仕訳を行った。

(借) 共 済 掛 金 (①) (貸) 前 払 費 用 (①)

4. 第 26 期につき、基準収入に対して 30%の減収となった。そこで、収入保険の保険金等の受領見込額を見積計算したところ、その額は 984,375 円（内訳：収入保険の保険金 562,500 円、国庫補助相当分の特約補填金 421,875 円）となった。

(借) 未 決 算 984,375 (貸) (③) 984,375

5. 本日、収入保険の保険金等の請求手続を行った。

(借) 未 収 入 金 984,375 (貸) 未 決 算 984,375

6. 上記 5. で請求した収入保険につき、保険金等 984,375 円（内訳：収入保険の保険金 562,500 円、国庫補助相当分の特約補填金 421,875 円）及び積立金の払戻金 140,625 円が普通預金口座に入金となった。

(借) 普 通 預 金 1,125,000 (貸) 未 収 入 金 984,375
(②) 140,625

【選択肢】

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. ①48,750 | ②経営保険積立金 | ③収入保険補填収入 |
| 2. ①62,500 | ②経営保険積立金 | ③経営安定補填収入 |
| 3. ①62,500 | ②経営保険積立金 | ③収入保険補填収入 |
| 4. ①48,750 | ②圧縮積立金 | ③経営安定補填収入 |
| 5. ①48,750 | ②圧縮積立金 | ③収入保険補填収入 |

問題 16

次の〔資料〕は、ニチビ農事組合法人の定款の一部を抜粋したものである。このうち、第50条第2項及び同条第3項について、それぞれの文章が示す配当を〔語群〕から選択したとき、その正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

〔資料〕 定款（抜粋）

第8章 会計

（配当）

第50条 この組合が組合員に対して行う配当は、毎事業年度の剰余金の範囲内において行うものとし、組合員がその事業に従事した程度に応じてする配当及び組合員の出資の額に応じてする配当とする。

2 事業に従事した程度に応じてする配当は、その事業年度において組合員がこの組合の営む事業に従事した日数及びその労務の内容、責任の程度等に応じてこれを行う。

3 出資の額に応じてする配当は、事業年度末における組合員の払込済出資額に応じてこれを行う。

〔語群〕

イ 出資配当

ロ 利用分量配当

ハ 従事分量配当

【選択肢】

- | | | | | |
|----|-----|---|-----|---|
| 1. | 第2項 | イ | 第3項 | ロ |
| 2. | 第2項 | イ | 第3項 | ハ |
| 3. | 第2項 | ロ | 第3項 | ハ |
| 4. | 第2項 | ハ | 第3項 | イ |
| 5. | 第2項 | ハ | 第3項 | ロ |

問題 17

次の文章の①～③に最も当てはまる〔語句〕の正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。
 なお、〔語句〕は同じものを何度使用してもよいものとする。

消費税とは、商品の販売などの際に課税される（ ① ）の一種であり、国内における消費に担税力を求めて課税される。消費税は、（ ② ）が最終的に商品の購入などを通じて負担する税金であるが、消費税の納付は、（ ② ）自らが行うのではなく、商品の販売などを行った事業者が行うことになる。

つまり、消費税は、事業者の行った売上に対して課税され、消費税相当額が、事業者の販売する商品等の価額に上乗せされることになり、最終的には（ ② ）に転嫁される仕組みになっている。

消費税の納付税額は、商品の販売などに対する消費税額（ ③ ）、商品の購入などに対する消費税額を（ ④ ）して求められる。

〔語句〕

ア 直接税
オ に

イ 間接税
カ から

ウ 事業税
キ 加算

エ 消費者
ク 控除

ケ 生産者

【選択肢】

- | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 1. | ① ア | ② エ | ③ オ | ④ キ |
| 2. | ① ア | ② エ | ③ カ | ④ ク |
| 3. | ① イ | ② エ | ③ オ | ④ キ |
| 4. | ① イ | ② エ | ③ カ | ④ ク |
| 5. | ① ウ | ② ケ | ③ オ | ④ キ |

問題 18～25

水稲生産と酪農業を経営するNB株式会社の20X5年1月1日から20X5年12月31日までの会計期間について、次の〔資料1〕及び〔資料2〕に基づいて、以下の設問に答えなさい。
 なお、当社は原価計算制度を採用していない。

〔資料1〕決算整理前残高試算表

NB株式会社	20X5年12月31日	(単位:円)
212,128	現金	
7,503,725	普通預金	
2,408,076	売掛金	
541,728	原材料	
1,821,204	仕掛品	
291,847	仮払法人税等	
18,700,000	建物	
8,800,000	機械装置	
495,000	器具備品	
1,877,641	生物	
4,600,424	土地	
82,800	株式交付費	
	買掛金	891,000
	預り金	61,644
	長期借入金	13,500,000
	農業経営基盤強化準備金	4,000,000
	資本金	9,000,000
	繰越利益剰余金	15,088,430
	水稲売上高	8,316,000
	生乳売上高	14,796,000
	生物売却収入	363,000
	価格補填収入	1,977,000
330,000	生物売却原価	
521,695	種苗費	
881,496	肥料費	
7,032,960	飼料費	
5,114,579	賃金手当	
795,960	動力光熱費	
425,458	共済掛金	
4,930,000	役員報酬	
165,900	事務用品費	
334,721	通信費	
	受取利息	216
125,948	支払利息	
67,993,290		67,993,290

〔資料2〕決算整理事項

(1) 棚卸資産の期末棚卸の状況は、以下のとおりである。棚卸資産の決算整理は、総額法による。

品目	数量	単価
飼料A	56 袋	4,752 円／袋
肥料B	44 袋	4,158 円／袋

なお、期末における仕掛品の評価額は 2,373,516 円であった。

- (2) 当期において農業用トラクター 6,600,000 円を取得したので、機械装置に計上した（これは適正に処理済である）。これに伴い、農業経営基盤強化準備金を全額取り崩し、直接減額方式により 4,000,000 円の圧縮記帳を行う。
- (3) 作付助成の交付金として 510,000 円支払われる旨の通知を 20X5 年 12 月 22 日に受け取り、20X6 年 1 月 15 日に入金となった。決算において、当期の収入として計上する。
- (4) 株式交付費は、当期 7 月 1 日に増資をした際に支出したもので、支出後の 3 年間で月割償却する。
- (5) 建物、機械装置、器具備品、生物の減価償却費は、それぞれ 850,000 円、1,100,000 円、82,500 円、555,000 円である。記帳方法は、直接法とする。
- (6) 減価償却費のうち、製造原価に含めるべき金額は、1,687,500 円である。
- (7) 決算において、法人税等の年税額が 791,847 円と確定した。

製造原価報告書

NB株式会社 自 20X5 年 1 月 1 日 至 20X5 年 12 月 31 日 (単位：円)

I 直接材料費

期首材料棚卸高	()	
種 苗 費	()	
肥 料 費	()	
飼 料 費	()	
計	()	
期末材料棚卸高	()	()

II 直接労務費

賃 金 手 当	()	
---------	---	--	---	--

III 直接経費

動 力 光 熱 費	()	
共 済 掛 金	()	
()	()	(ア)
当 期 総 製 造 費 用	()	
期首仕掛品棚卸高	()	
計	()	
期末仕掛品棚卸高	()	
当期製品製造原価	()	(イ)

問題 18 上掲の製造原価報告書の空欄 (ア) を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 2,908,918 2. 2,908,937 3. 2,908,956 4. 2,908,975 5. 2,908,994

問題 19 上掲の製造原価報告書の空欄 (イ) を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 15,999,924 2. 15,999,943 3. 15,999,962 4. 15,999,981 5. 16,000,000

損 益 計 算 書

N B株式会社 自 20X5年1月1日 至 20X5年12月31日 (単位：円)

I	売 上 高		
	1. 売 上 高	()	
	2. ()	()	
	3. (ウ)	(エ)	()
II	売 上 原 価		
	1. 当期製品製造原価	()	
	2. ()	(オ)	()
	売 上 総 利 益		()
III	販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		
	1. 役 員 報 酬	4,930,000	
	2. 事 務 用 品 費	()	
	3. 通 信 費	()	
	4. 減 価 償 却 費	()	()
	営 業 利 益		()
IV	営 業 外 収 益		
	1. 受 取 利 息	()	
	2. (カ)	(キ)	()
V	営 業 外 費 用		
	1. 支 払 利 息	()	
	2. (ク)	(ケ)	()
	経 常 利 益		()
VI	特 別 利 益		
	1. ()		()
VII	特 別 損 失		
	1. (コ)		(サ)
	税 引 前 当 期 純 利 益		()
	(シ)		(ス)
	当 期 純 利 益		()

問題 20 上掲の損益計算書の空欄 (ウ)、(エ)、(カ)、(キ)に入れるべき、正しい表示科目または金額の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | |
|---------------|-------------|------------|-------------|
| 1. ウ 価格補填収入 | エ 1,977,000 | カ 経営安定補填収入 | キ 510,000 |
| 2. ウ 経営安定補填収入 | エ 1,977,000 | カ 作付助成収入 | キ 510,000 |
| 3. ウ 価格補填収入 | エ 1,977,000 | カ 作付助成収入 | キ 510,000 |
| 4. ウ 作付助成収入 | エ 510,000 | カ 価格補填収入 | キ 1,977,000 |
| 5. ウ 作付助成収入 | エ 510,000 | カ 経営安定補填収入 | キ 1,977,000 |

問題 21 上掲の損益計算書の空欄（オ）に入れるべき、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 303,000 2. 306,000 3. 330,000 4. 336,000 5. 363,000

問題 22 上掲の損益計算書の空欄（ク）～（サ）に入れるべき、正しい表示科目または金額の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | |
|--------------|-------------|-----------|-------------|
| 1. ク 株式交付費 | ケ 27,600 | コ 固定資産圧縮損 | サ 4,000,000 |
| 2. ク 株式交付費償却 | ケ 27,600 | コ 固定資産圧縮損 | サ 4,000,000 |
| 3. ク 固定資産圧縮損 | ケ 4,000,000 | コ 株式交付費償却 | サ 27,600 |
| 4. ク 株式交付費償却 | ケ 13,800 | コ 固定資産圧縮損 | サ 4,000,000 |
| 5. ク 株式交付費 | ケ 14,800 | コ 固定資産圧縮損 | サ 4,000,000 |

貸借対照表

NB株式会社

20X5年12月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金預金	()	1. 買掛金	()
2. 売掛金	()	2. 預り金	()
3. 原材料	()	3. (タ)	(千)
4. 仕掛品	()	流動負債合計	()
5. ()	()		
流動資産合計	(セ)	II 固定負債	
II 固定資産		1. ()	()
1. 建物	()	固定負債合計	()
2. 機械装置	()	負債合計	()
3. 器具備品	()	純資産の部	
4. 生物	()	I 株主資本	
5. ()	()	1. 資本金	9,000,000
有形固定資産合計	(ソ)	2. 利益剰余金	
固定資産合計	()	(1)その他利益剰余金	
III 繰延資産		繰越利益剰余金	()
株式交付費	()	利益剰余金合計	()
繰延資産合計	()	純資産合計	()
資産合計	()	負債・純資産合計	()

問題 23 上掲の貸借対照表の空欄（セ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 12,946,509 2. 13,000,000 3. 13,106,851 4. 13,298,745 5. 13,456,509

問題 24 上掲の貸借対照表の空欄（ソ）を計算し、正しい金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 27,885,565 2. 27,888,777 3. 27,975,335 4. 27,999,107 5. 28,000,000

問題 25 上掲の損益計算書の空欄（シ）、（ス）と、貸借対照表の空欄（タ）、（チ）について、正しい表示科目または金額の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

- | | | | | |
|----|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. | シ 法人税等 | ス 291,847 | タ 未払法人税等 | チ 291,847 |
| 2. | シ 法人税等 | ス 791,847 | タ 未払法人税等 | チ 500,000 |
| 3. | シ 仮払法人税等 | ス 291,847 | タ 未払法人税等 | チ 791,847 |
| 4. | シ 仮払法人税等 | ス 791,847 | タ 未払法人税等 | チ 500,000 |
| 5. | シ 未払法人税等 | ス 500,000 | タ 法人税等 | チ 791,847 |

